

第15期 令和6年度(2024)

香美市まちづくり寄附金 報告書



高知県香美市

1. 寄附者の皆さまへ

皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
 また、日頃より本市のまちづくりに格別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。
 香美市まちづくり寄附金制度は、平成20年4月からの寄附金税制の改正（ふるさと納税制度新設）に伴い、香美市では同年6月に導入しました。
 制度スタート以来、全国の皆さまから「ふるさと香美市」を想われるお気持ちとたくさんのご寄附をお寄せいただきました。
 ここに香美市まちづくり寄附金の令和6年度事業報告をさせていただきますとともに、あらためてお礼を申し上げます。
 今後とも、皆さまにご支援をいただけるようなまちづくりに努めてまいりますので、引き続き、香美市へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 寄附の概況

コース 年度	①かがやき コース		②やすらぎ コース		③にぎわい コース		④市長おまかせ コース		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R2年度	4,330	59,686,000	1,759	23,901,000	927	11,116,500	8,856	108,414,000	15,872	203,117,500
R3年度	3,079	45,987,000	1,512	20,631,500	741	10,466,500	6,243	88,846,400	11,575	165,931,400
R4年度	2,443	50,412,500	1,108	9,592,000	548	18,999,000	4,194	62,049,500	8,293	141,053,000
R5年度	1,690	53,756,000	674	15,201,000	403	10,930,500	2,037	46,589,000	4,804	126,476,500
R6年度	1,047	42,656,500	407	11,213,000	360	11,688,500	1,567	41,946,000	3,381	107,504,000

3. 寄附の活用方法について

令和6年度は、ご指定のあったコースの財源として下記の事業に活用させていただきました。

寄付金コース	使用金額	使途内容	備考
かがやき	21,020,000	国際バカロレア教育推進事業、図書館資料購入事業、生涯学習フォーラム開催、スポーツ大会選手派遣事業、美術館リニューアルオープン記念事業、星空観望会、部活動備品購入事業、公民館事業用物品購入、国際交流協会補助金	
やすらぎ	1,830,000	保育園災害備蓄物資購入事業	
にぎわい	15,780,000	香美市3大祭り(川上様夏祭り・土佐山田まつり・湖水祭)補助金、お土産品開発事業補助金、観光客受入環境整備事業	
市長おまかせ	37,595,000	地域活性化総合補助金、ものづくり大賞、高知工科大学地域活動奨励事業費補助金、子育て世代新築住宅取得・住宅リフォーム支援補助金、提案型市民主役事業費補助金、イベント用テント購入、やなせたかし先生懸賞動画作成、キービジュアル作成	
合 計	76,225,000		

4. 活用事例について

(1)かがやきコース

① 国際バカロレア推進事業

～Discover Kochi Projectでの実践～

ア 取組内容

国際バカロレア(IB)教育の質を高めるために、IB認定校申請、カリキュラム検証・修正、小学校との合同研修、国内外IB校との交流、視察研修を積極的に実施しました。また、Discover Kochi Projectでは、地域の課題(外国人にとって住みやすいまちづくり)に着目し、困りごとを具体的に把握し、実践したことをまとめ、表情豊かに聞き手に伝えることができました。

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

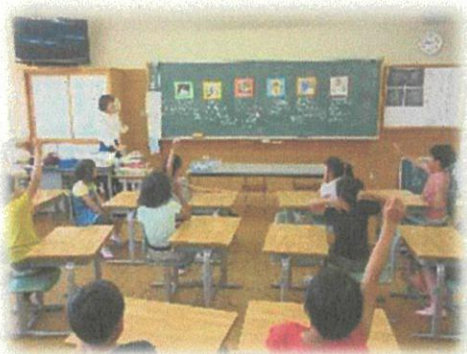
解決に向けた具体的な提案を行い、実際にメニューを作成・使用してもらうなどの実践につなげました。ゴミ出しの不便さを解消するために英語のパンフレットを作成していた中で、香美市に英語版のパンフレットがあることに気が付いたため、既存のパンフレットを広めるべく、大学や市役所にポスターを提示するなどの提案に切り替えました。

ウ 取組による効果

国際バカロレア教育の継続的な実施に寄与し、視察研修での学びを生徒自身の主体的な探究学習を支える教員側の手立てや実践に積極的に活用しています。

また、Discover Kochi Projectといった実践的な活動を通して、地域や世界の現実的な課題に対し、自らテーマを設定し、調査・計画・実行する探究力と行動力を着実に伸ばしています。

【探究の時間の様子】



② よってたかって生涯学習フォーラム

～みんなでよってたかって「探究のまち香美市」に！～

ア 取組内容

「探究のまち香美市」の目指す教育を市民に周知し、主体的な学びや探究的な活動を推進するとともに、子どもも大人も皆なで学び合い、高め合いながら市民間のつながりを育むことを目的として開催しています。

会場：高知県立山田高等学校(メイン会場)・香美市立中央公民館・香美市立美術館・香美市立図書館かみーる
香美市立土佐山田体育館、香美市立香北総合型競技施設

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

幅広い世代から企画が集まるよう保幼小中高特別支援校、商工会や観光協会などの関係機関だけでなく、ホームページやSNSを通じて、広く参加を呼びかけました。

ウ 取組による効果

香美市民をはじめ多くの方々に参加していただくため、探究成果発表会をはじめ飲食物の販売やドローン教室など様々な企画に取り組みました。昨年度から実施している「Kamiプロジェクトアワード」では、子どもから大人まで幅広い年齢層から応募をいただき、昨年度を6チーム上回る25チームからエントリーがあり、一次選考を通過した7チームの発表がフォーラムを大いに盛り上げました。

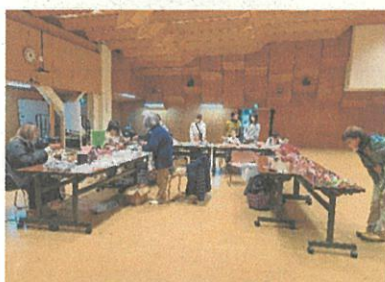
また、イベント企画には昨年度を上回る延べ1,000人を超す方々が参加し、総来場者数が3,700人を超えたことは大きな成果であり「探究のまち香美市」をPRする良い機会となりました。今後も香美市民が当フォーラムを通して探究活動へ関心を高め、年齢を超えて互いに学び合うとともに、市民間のつながりを育む場となるよう取り組んでいきます。

令和6年度実績：2025年2月15日(土)実施 総来場者 約3,788人(対前年比+188人) ※目標2,500人【達成】

【山田高等学校会場の様子】



【中央公民館会場の様子】



【土佐山田体育館会場の様子】



【香北総合型競技施設の様子】



③ リニューアルオープン記念事業

～香美市立美術館第109回企画展「きれいな絵」～

ア 取組内容

香美市立美術館は展示室等の改装でリニューアルオープンとなるとともに、開館30周年を記念することに合わせて、市民の方々にもあらためて美術館に注目していただけるように「きれいな絵」と題して企画したものです。
これまで美術館に足を運んだことがなかった市民の方々に30年という節目に際して、わかりやすく親しみが持てる分野の絵を紹介し、豊かな時間や空間を提供します。

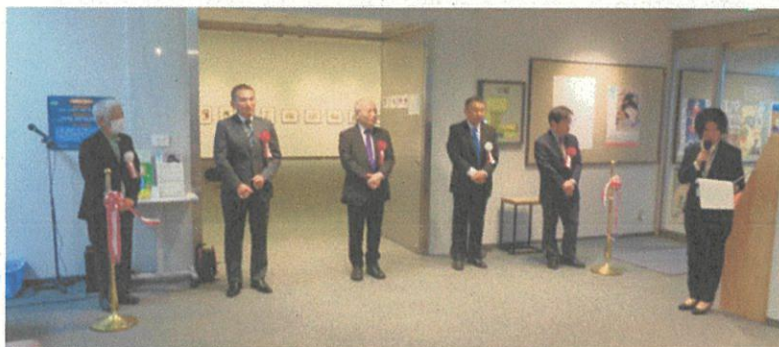
イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

「きれいな絵」展の開催にあたり、県立美術館所有作品借用において相手側の指定する照度、作品の輸送に係る図面や仕様書等を用いて調査・協議を行いました。広報を目的としたオリジナル記念グッズは協議の結果、缶バッジからマグネットに変更し、多用途に活用できるようにしました。それらの記念品を通じて香美市立美術館の発信に繋がりたいと考えています。
土佐山田商店街周辺のギャラリー2館と美術館を合わせた「土佐山田・あーとリンク」開催にあたり、3館が情報共有し印刷物の原稿制作を行いました。

ウ 取組による効果

リニューアルオープンイベントでは、敷居が高いと思われる美術館のイメージを変えるために「初日無料day」として美術館を開放したことで、県立クラスとは違う地元根差した美術館のアピールに繋がったと感じています。
また、「土佐山田・あーとリンク」は3館で市内外から1,164名の来館があり、開催中は制作したチラシやMAP片手に商店街のまち歩きを楽しみ、商店街活性化に繋がったと感じています。

【オープニングセレモニー】



【あーとリンク会場・美術館】



【あーとリンク会場・他会場】



【あーとリンクスタンプラリー景品】



(2) やすらぎコース

① 災害備蓄物資

～被災時の保育園の命をつなぐ～

ア 取組内容

香美市立6保育園においては、約530名の園児が在籍しています。各保育園において、南海トラフ地震を含めた災害対策は喫緊の課題であり、対策の一環として、被災時の命をつなぐことを目的とした災害備蓄物資(備蓄食糧(消費期限5年)、使い捨て哺乳瓶、ラップフィルム等の物品)を5年ごとに購入しています。

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

園児の食に関しては、アレルギー対策、清潔な食器の確保等、様々な課題があります。これらの課題を解決するために、アレルギー対応食とともに、食器を清潔に保つためのラップフィルムを購入しました。

ウ 取組による効果

災害備蓄物資の購入により、今後5年間の食糧等を確保することができましたが、地震だけでなく、出水期の豪雨災害、水害等、災害への懸念は絶えません。物資購入後、各保育園においては、数量及び割当の確認等、迅速な被災時の対応を想定した準備作業を行いました。今後も定期的な避難訓練に併せて、こうした準備作業を実施し、安心・安全な保育活動に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

【なかよし保育園】



【あけぼの保育園】



【片地保育園】



【新改保育園】



【美良布保育園】



【大栃保育園】



(3)にぎわいコース

① 奥物部湖湖水祭事業

～ お山のディスコ 奥物部でダンス・ダンス・ダンス ～

ア 取組内容

奥物部湖湖水祭は、尊い命を犠牲(24名)に永瀬ダム建設に務められた方々への慰霊と五穀豊穡、ダムの安泰及び地域振興を祈願するとともに、仕事等の関係で県内各地や遠く県外に転出された方々に、故郷での一夜を楽しんでいただくために、昭和31年からはじまりました。

祭の当日は、約4,000個の灯ろう流しや屋台も並びました。奥物部という山間部(標高約200m)で開催するで、より一層、花火の音や光が際立った打ち上げになり、地元住民のみならず県外からも多くの観光客が訪れています。

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

地元の祭りのため、大栃保育園・大栃小学校・大栃中学校の園児及び生徒による灯ろう作成を実施しました。また、祭りへの寄附金等でご協力いただいた企業様には、祭り当日用の屋台無料ビール券の配布を実施しました。他には、市ホームページへの掲載や、ポスター及びチラシを香美市全域の自治会に配布し、宣伝及び周知を図りました。

ウ 取組による効果

園児及び生徒による灯ろう作成の実施により地域文化の継承活動が図れ、また、寄附金等でご協力いただいた企業様への無料ビール券の配布により、祭りへの集客効果や、企業様に対して、ある一定の恩返しができたと思います。市ホームページへの掲載や、ポスターを香美市全域の自治会に配布したことで、集客効果が図れました。(約7,000人来場)

【祭り当日、会場の様子】



【花火や湖面を彩る灯ろうの様子】



【地元の子どもによる灯ろう作成の様子】



【令和6年開催時のポスター】



(4)市長おまかせコース

① ものづくり会議

～地域特産品を香美市の宝に～

ア 取組内容

香美市では、地域の商品をふるさと納税の返礼品にすべく「香美市ものづくり大賞」を開催してきました。香美市ものづくり大賞では各賞を受賞した方に賞金や記念品を授与し、商品のPR等を行います。本事業は、香美市内でつくり出された商品を称えることで、ものづくりに挑戦するひとを応援し、香美市のものづくり産業発展へ向け推進することを目的とします。

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

今回は、連続テレビ小説「あんぱん」の放送を契機に新たにあんぱん室賞を追加しました。香美市役所企画財政課やなせたかし先生顕彰事業推進室(通称:あんぱん室)の室長を審査委員に迎え、ものづくり大賞のポスターや広告に「あんぱん」要素をふんだんに盛り込み、賞金や景品を追加しました。

ウ 取組による効果

香美市に眠っている地域の食材・加工品・工芸品等をご応募していただくことで、商品が市内外の方々の目に触れる機会を創出します。また、受賞された際には賞金や景品、メディアへの露出等を機に今後の活動へのバネにしていきたいと考えています。最終的には、ふるさと納税の返礼品として登録していただくようお声がけします。香美市の返礼品をさらに発掘していき、寄附者の方に香美市の宝を手にとっていただきたいと思います。

【ものづくり大賞審査の様子】



【授賞式の様子】



【授賞式後販売の様子】



② 香美市PR動画制作等委託業務

～市民と一緒に香美市をPRしよう～

ア 取組内容

あんぱん室では、やなせたかし先生顕彰事業基本計画を策定しました。その計画の一環として、市民と共に香美市をPRし、盛り上げるために、動画制作を行いました。具体的には、市民へSNS(Instagram)講座を開催しそれを通じて、参加者から動画の提供を受け、香美市のPR動画を作成しました。

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

市役所にて職員向けの講座、また保健福祉センター香北および香美市立図書館かみーるにてSNS講座を実施し、＃かみ暮らし のタグをつけてもらうことで多くの人に広がるよう工夫しました。また、作成した動画は、各種イベントで積極的に活用し多くの方に見ていただきました。

ウ 取組による効果

SNS講座を実施した結果、＃かみ暮らし のタグのついた投稿が100件以上あり、一定の効果が見込まれました。また、PR動画を見た方からは、良い反応がたくさん見られました。このような取組みをきっかけに、県内外の方にやなせ先生や香美市への興味関心を持ってもらい、観光の発展などに繋げていきたいです。

【職員向け講座の様子】



【保健福祉センター香北での講座の様子】



【かみーるでの講座の様子】



【山田高校でのPR動画の公開】



③ 高知工科大学地域活動奨励事業費補助金

～高知工科大学学生による地域振興～

ア 取組内容

高知工科大学と連携し地域振興を図るため、高知工科大学学生が取り組む地域に貢献する事業に要する経費に対し、補助金を交付しております。令和6年度は5団体1事業に対して助成を行いました。

取組: ココイコ! プロジェクト活動、高知工科大学大学祭”Flying Fish Festival”、KUT+illumination2024『祭』
高知工科大学と香美市の連携によるものづくり、にろうのべいす改修活動

イ 取組にあたり工夫した点や注力した点

香美市の抱える課題に対して、積極的に取り組む意思及び行動力のある高知工科大学学生が行う事業の助成に柔軟に対応することで、地域単位での個別の活動や、香美市が実施するイベントへの参加、香美市全体の盛り上げ等、幅広い範囲での地域振興を行うことができました。

ウ 取組による効果

高知工科大学学生が学内で経験できない地域住民との交流や対話、協働を通して、香美市の魅力を再発見することができました。また、地域住民または地域全体が学生と交流し、地域活動を行う事で、地域の活性化につなげることができました。

【ココイコ! プロジェクト活動】



里山学校の様子

【高知工科大学大学祭”Flying Fish Festival”】

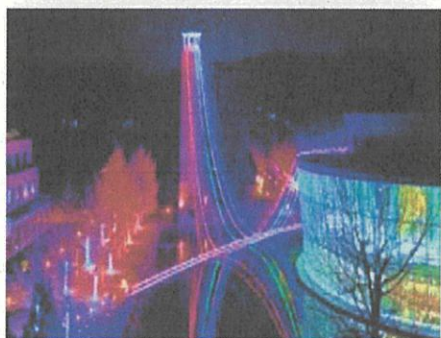


モニュメント



レースステージ

【KUT+illumination2024『祭』】

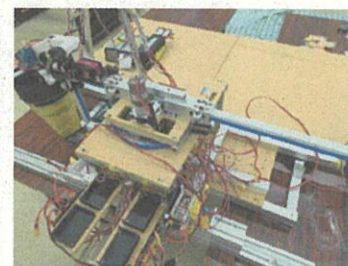


冬季イルミネーション

【高知工科大学と香美市の連携によるものづくり】



出前授業の様



大学祭でのロボット展

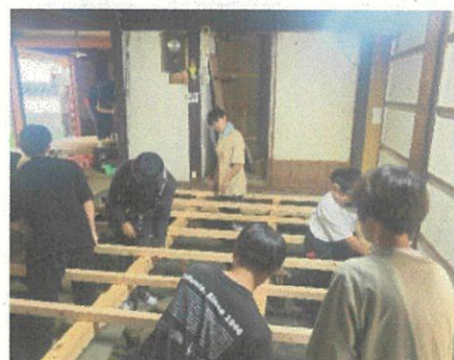
【にろうのべいす改修活動】



改修前



解体



再構築

5. 基金について

寄附者の意向に沿った事業に充当するため、当該年度の寄附金を積み立て、翌年度以降の事業の特定財源とし、基金から繰入れを行っています。

【まちづくり応援基金積立額推移】

年度	基金残高(円)	対前年度(円)
令和3年度	341,547,117	
令和4年度	316,741,660	△24,804,457
令和5年度	313,294,508	△ 3,447,152
令和6年度	293,825,636	△19,468,872

6. 課題

過去5年間の寄附金額については、連続して寄附額が減少し、基金積立額についても減少傾向にあります。令和5年10月の総務省による基準改正以降、返礼品に対する寄附の設定金額が上がり、その時期から顕著に寄附が減少してきました。また、令和6年度は中間事業者を変更したことでポータルサイトの画像等の再掲載が必要となり、殆どのポータルサイトで4月・5月と寄附を受け入れることができず、寄附が伸び悩みました。その後は順調に回復してきたものの、寄附額については前年度に届かない結果となりました。

また、全国的に伸びている日用品等の返礼品は香美市で出せるものが少なく、その点も香美市の寄附額減少の大きな要因になっていると思われます。加えて香美市には規模の大きい事業者が少なく、本業の傍らでふるさと納税に協力をしてくださっています。

今後は魅力ある新規返礼品や新規事業者の開拓に加え、既存の事業者での返礼品数を増やす等の工夫が必要となります。寄附者様から頂いた寄附金活用事例も明確にし、市のホームページ等を通じて目に見える形で事業報告を行うことが求められます。